

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

- 1 . 講 師 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科細胞組織学分野
教授 大内 淑代
- 2 . 演 題 網膜の発生分化と機能
- 3 . 日 時 平成 2 4 年 1 1 月 2 日(金)
1 7 時 3 0 分 ~ 1 9 時 3 0 分
- 4 . 場 所 M & D タワー 6 階 共用セミナー室 1 1
- 5 . 内 容

網膜は、多様な網膜神経細胞の存在する神経網膜と網膜色素上皮とから成る。神経網膜と網膜色素上皮とは、進化的に保存された網膜領域で、発生初期の眼胞期に2つの領域が分化する。この領域分化には、眼胞周囲からの分泌性シグナルの作用が重要であるが、神経上皮自律的なしくみで進行することが最近明らかになった。神経網膜からは桿体・錐体の2つの古典的視細胞が分化し、明暗覚と色覚とを司り、少数の神経節細胞も青色光を受容して概日時計の光同調を行っている。こうした光受容は、桿体・錐体オプシン、メラノプシンという視物質オプシンが担うが、最近我々は、オプシン5という新しいオプシンが網膜に存在することを見出した。本講義では、私どもの研究成果を交えて、網膜の発生分化と機能に関する最近の知見についてお話しする。

連絡先 分子発生学分野 井関祥子 (内線 5579)